

情報戦略システム (Strategic Information Systems)		5 年・後期・1 学修単位（β）・選択 情報工学科・担当 松尾 賢一	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1 (100%)	〔JABEE 基準〕  (d-2a)	
〔教育方法等〕 概要： 組織内で使用されるコンピュータデータベースを基盤とした情報システムである経営情報システムは、様々なデータや情報を集積することを目指した。これを用いて、経営に必要な情報を即座に提供する環境を作り出すことで、経営をサポートする一翼の役割を果たすことになった。この経営情報システムの登場によって、「経営の効率化」が重要視されるようになり、現在に至っては経営を左右する意思決定や戦略の策定までを請け負う「戦略情報システム」が登場し、経営は、効率化から多角化へとその手法が変化してきた。この講義では、多角的に情報戦略システムを捉えて講義するとともに、企業等で情報戦略を進める上で必要な基礎知識として、OR や IE 手法についてについて講義する。また、講義内容を実習によって理解を深めることを目指す。			
授業の進め方と授業内容・方法： 座学と実習を交互に繰り返す授業内容である。座学で得た知識を実習で実践しながら各自の理解度を確認する。また、理解度の定着を e-Learning によるテストで確認する。			
注意点： 関連科目 情報リテラシ、情報セキュリティ、情報工学特論との関係が深い。 学習指針 理解度を測るレポートを作成してもらうので、講義内容の内容をしっかりと理解する。 自己学習 目標を達成するために、授業以外にも予習復習を怠らないこと。また、発表に際しては十分に準備して授業に望むこと。			
〔教科書〕 なし 〔補助教材・参考書〕 配布プリント ホームページ参照 ( <a href="http://www.info.nara-k.ac.jp/~matsuo/JYUGYO/SIS/sis.html">http://www.info.nara-k.ac.jp/~matsuo/JYUGYO/SIS/sis.html</a> )			
〔到達目標〕 1. OR (operations research), IE (industrial engineering) の基礎知識を身につける。 2. プロジェクト管理上の諸問題を解決するための道筋や方法を考える力を身につける。			
〔評価割合〕 課題レポート (70%), 各種実習内容, 実習内容確認テスト (30%) を総合して、評価する。 定期試験は実施しない。			

## 授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
後 期	1 週	情報戦略システムとは	情報戦略システムとは何かを理解できる。	
	2 週	人間の情報活動	人間が日常行っている情報活動について理解できる。	
	3 週	情報戦略	情報収集と分析について理解できる。	
	4 週	SWOT 分析 1	SWOT 分析の概要について理解できる。	
	5 週	SWOT 分析 2	SWOT 分析を用いて要因分析を実施（A L 形式）する。	
	6 週	TOWS 分析	TOWS 分析による戦略の策定を実施（A L 形式）する。	
	7 週	戦略立案発表	SWOT 分析，TOWS 分析に基づく戦略立案内容について討論（A L 形式）できる。	
	8 週	日程計画法 1	日程計画法について理解できる。	
	9 週	日程計画法 2	日程計画法に基づいて諸問題を解決できる。	
	10 週	線形計画法 1	線形計画法について理解できる。	
	11 週	線形計画法 2	線形計画法に基づいて諸問題を解決できる。	
	12 週	階層化意思決定法 1	階層化意思決定法について理解できる。	
	13 週	階層化意思決定法 2	階層化意思決定法に基づいて諸問題を解決できる。	
	14 週	確認テスト	これまでの学習内容を確認する。	
	15 週	総まとめ	今後の情報戦略について理解できる。	
	16 週	試験返却・解答	試験問題を見直し，理解が不十分な点を解消する。	

\* 4：完全に達成した，3：ほぼ達成した，2：やや達成できた，1：ほとんど達成できなかった，0：まったく達成できなかった。